

委託・指定管理・補助 対象団体シート (概要説明書)

予算事業名	若者自立総合支援事業費	事業開始年度	平成19年度	
団体名	財団法人三重県労働福祉協会			
団体への支出根拠 (選定経過等、支出先の妥当性)	在宅者等アウトリーチ事業(緊急雇用創出事業) 本事業は、若年無業者(ニート)に対し、訪問相談を行うことにより自立を支援するものである。また、合わせて東紀州地域での出張相談を目的としている。 委託先には、①若年無業者(ニート)の相談に関するノウハウ(相談、家庭訪問、出張相談)が必要であり、全県的な活動が可能であることが求められる。そのため、生活・文化部競争入札等審査会の審議を経て、地域若者サポートステーションを運営する財団法人三重県労働福祉協会と随意契約を行った。			
委託料・補助金等の用途 (平成22年度分) <small>※委託料は設計ベースのため、前頁の決算額における委託料と一致しない</small>	委託料・内訳補助金等	費目	概要	金額
		人件費	相談員2名分(通勤手当、社会保険料含む)	3,274千円
		使用料	リース車両、パソコン、高速道路利用料等	1,010千円
		旅費	出張相談等の交通費	404千円
		その他	チラシ印刷、ガソリン代、通信運搬費等	554千円
		諸経費		524千円
		消費税		289千円
				委託料・補助金 総額

※以下、法律で財務情報の公表が義務付けられている団体(出資比率50%以上の団体、社会福祉協議会等)については必須記入。その他、必要と思われる場合に記入。

団体概要										
	資本金	千円	役員	(単位:人)	常勤	うち	非常勤	うち	監事	うち
	市出資金	千円		役員		(出向/OB)		(出向/OB)		(出向/OB)
	出資比率	%		職員						
団体の収入概要 (平成22年度)	項目		金額		概要(詳細等)					
	国からの財政支出金		千円							
	県からの財政支出金		千円							
	市町村からの財政支出金		千円							
	委託料・指定管理料		千円							
	補助金		千円							
	その他		千円							
	総計		千円							
団体の支出概要 (平成22年度)	項目		金額		概要(詳細等)					
	事業費		千円							
	管理費		千円							
	人件費		千円							
	総計		千円							
利益剰余金 (または繰越欠損金)	平成22年度		千円							

若者自立総合支援事業 事業シート（概要説明書） 事業成果に関する参考資料

初回面談時から変化のあった人の割合（進路決定等を除く）77.4%
初回面談時と直近面談時を比較し、支援段階（下記表）が上昇した人の割合

若年無業者の支援段階

段階	内容
1	進路についてのイメージがなく、興味・関心もない段階。
2	進路について漠然としたイメージを持ち始めた、あるいは興味や関心が出てきた段階。まだ明確な方向性を持つには至っていない。
3	進路についての方向性が見えてきて、情報収集をできる段階。 しかし、進路決定のための行動には移せていない。
4	進路への方向性が見えてきた（3の段階）上で、就職や進路決定に向けて具体的に動き始めることができる段階。
5	進路決定（就職、職業訓練、進学など）した段階。

参考：厚生労働省キャリア形成支援室作成資料

三重県若者自立支援センターの支援の流れ

